

実践報告の執筆要領

編集委員会

「実践報告」は、「原著」のような研究論文とは性質が異なります。そこで、「原著」「短報」等論文と同じ論文の構成では、まとめるにむづかしいと考え、「実践報告」の抄録および本文の構成を以下の通り、変更することにしました。「実践報告」の構成については、柔軟に対応したいと考えております。ご質問等ありましたら、お問合せください。

1. 抄録について

抄録は、目的・方法・結果・結論の項目（構造化抄録）で、内容をまとめることになっていますが、「実践報告」はこれにしたがう必要はありません。本文にあわせて、目的・事業/活動内容・事業/活動評価・今後の課題というまとめ方でも構いません。ただし、実践報告も英文抄録（250words 以内）は作成ください（和文抄録は 600 字以内）。

2. 本文の構成について

「実践報告」の本文は、以下の表を参考に執筆ください。

「実践報告」の本文の構成

本文	I 目的	事業や実践活動の目的
	II 事業・活動内容	事業や実践活動内容の説明，倫理的配慮に関しても記述して下さい。
	III 事業・活動評価	事業や実践活動の結果やそこから得られた成果等
	IV 今後の課題	実践の結果，次に行う際の注意点や今後似たような活動をする人たちへのアドバイス等
	謝辞	(必要な場合)
	文献	執筆要領にしたがい，引用順に示して下さい。